

2023年3月期
決算補足説明資料

MRKホールディングス株式会社

東証スタンダード 9980

2023年5月15日

売上、利益ともに
計画を上回り

前期比
増収増益を達成

■ 売上高

前期比

103.8%

■ 営業利益

前期比

118.2%

連結業績ハイライト

婦人下着及びその関連事業

既存商品、新商品ともに好調に推移、増収増益を達成

【前期比】

売上高 **4.0%増収**

セグメント利益
8.3%増益

婚礼・宴会関連事業

行動制限の緩和など回復基調で推移

【前期比】

売上高 **59.5%増収**

セグメント損失
53百万円の改善

美容関連事業

施術・物販売上が順調に推移、増収増益、黒字化を達成

【前期比】

売上高 **9.1%増収**

セグメント利益
10百万円の黒字

連結損益計算書

(百万円)

	2022年3月期	構成比	2023年3月期	構成比	増減額	前期比
売上高	18,830	100.0%	19,541	100.0%	711	103.8%
売上総利益	14,342	76.2%	14,836	75.9%	494	103.4%
営業利益	679	3.6%	803	4.1%	124	118.2%
経常利益	731	3.9%	854	4.4%	123	116.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	423	2.2%	514	2.6%	90	121.4%

※ 当連結会計年度より、営業外収益に計上しておりました自社割賦に係る金利収益を売上高に計上する変更を行っております。
当該変更に伴い、前期の諸数値につきましても、表示方法の変更の内容を反映させております。

連結貸借対照表

(百万円)

	2022年3月末	2023年3月末	増減額	主な要因
流動資産	11,672	12,312	639	主に売掛金の増加
固定資産	5,669	5,737	67	主に建物及び構築物の増加
資産合計	17,342	18,049	707	
流動負債	3,041	3,245	203	主に買掛金の増加
固定負債	505	552	46	主にリース債務の増加
純資産	13,795	14,252	457	主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加
負債純資産合計	17,342	18,049	707	

キャッシュ・フロー計算書

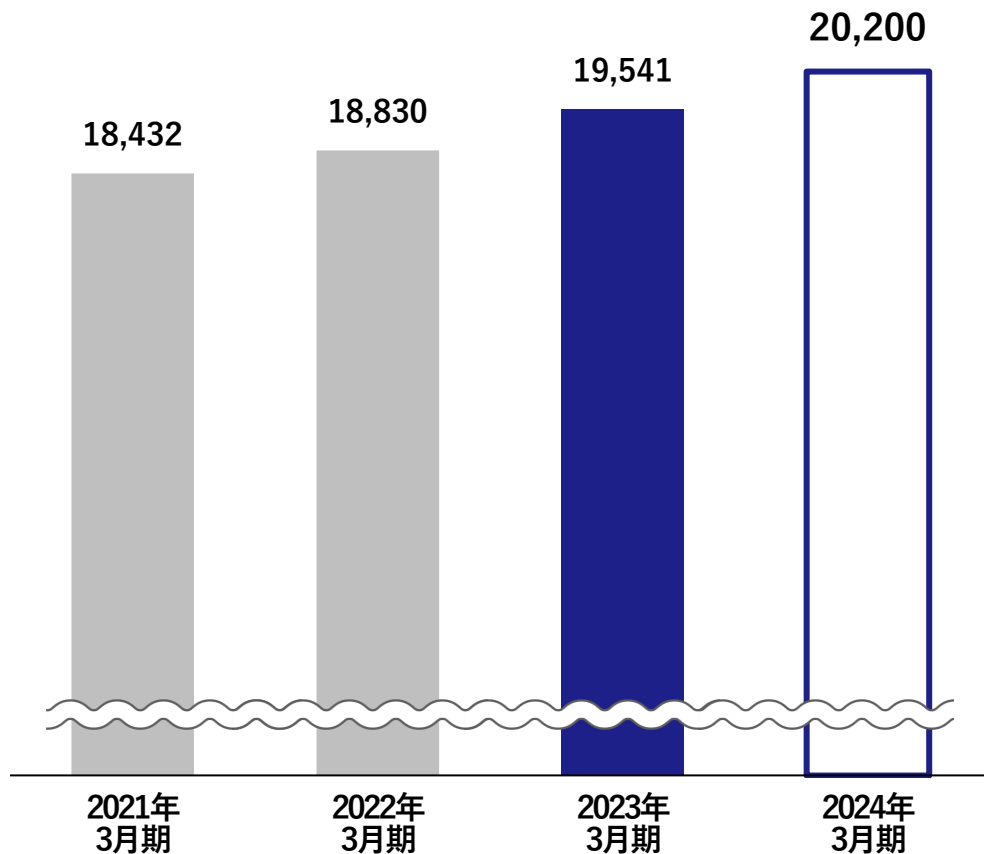
(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	101	△264	主に売上債権の増加による 資金の減少
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,291	△2,229	主に関係会社貸付金の増加による 資金の減少
財務活動による キャッシュ・フロー	△782	△239	主に株主優待費用による支出及び 配当金の支払い
現金及び現金 同等物の期末残高	5,289	2,556	

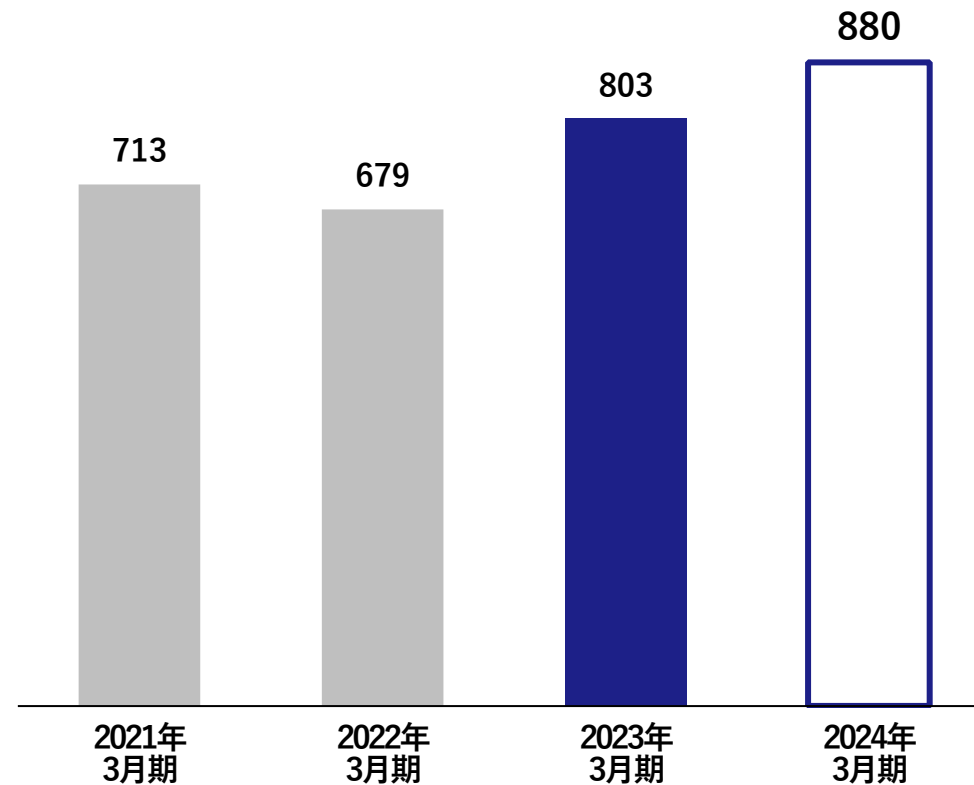
2024年3月期通期業績予想

2024年3月期業績予想

連結売上高推移 (百万円)



連結営業利益推移 (百万円)



※ 当連結会計年度より、営業外収益に計上しておりました自社割賦に係る金利収益を売上高に計上する変更を行っております。当該変更に伴い、前期の諸数値につきましても、表示方法の変更の内容を反映させております。

2024年3月期業績予想ハイライト

婦人下着及びその関連事業

中長期的な成長基盤に向けて先行投資

- 店舗従業員の採用及び育成への投資拡大
- 新たな顧客層への販路の構築への投資拡大

マタニティ及びベビー関連事業

シェア拡大による収益改善と新たな販路構築

- 商品の差別化推進によるシェア拡大
- 海外(中国)市場への進出など販路拡大

婚礼・宴会関連事業

アフターコロナ需要に対応し 収益改善を加速

- 法人営業・イベント営業体制の強化
- プロモーション強化による集客力の強化

美容関連事業

成長軌道に向けた収益基盤の強化

- スタイリストの採用・育成の促進による
施術売上の拡大
- SNSプロモーションなど集客力の強化

2024年3月期業績予想

(百万円)

	2023年3月期	構成比	2024年3月期	構成比	増減額	前期比
売上高	19,541	100.0%	20,200	100.0%	658	103.4%
営業利益	803	4.1%	880	4.4%	76	109.5%
経常利益	854	4.4%	880	4.4%	25	102.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	514	2.6%	530	2.6%	15	103.1%

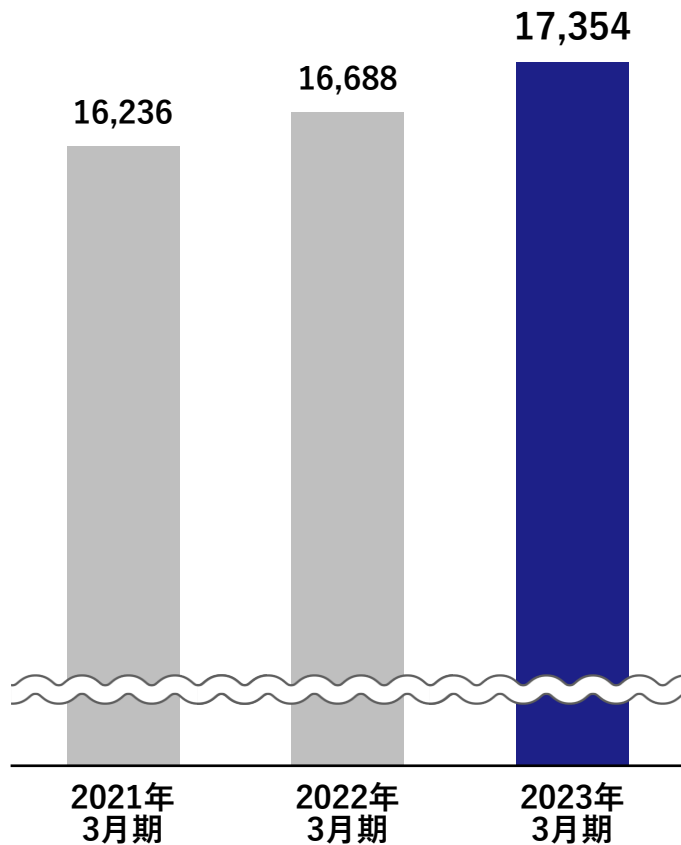
※ 当連結会計年度より、営業外収益に計上しておりました自社割賦に係る金利収益を売上高に計上する変更を行っております。
当該変更に伴い、前期の諸数値につきましても、表示方法の変更の内容を反映させております。



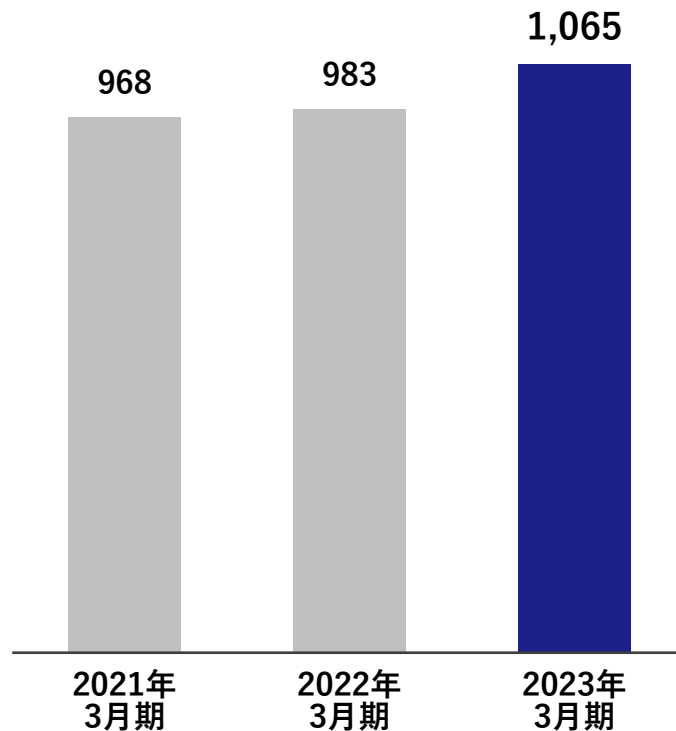
婦人下着及びその関連事業

■ 婦人下着及びその関連事業

セグメント売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



新商品・サービスの拡充と定期
購入売上の順調な推移により

増収増益を 達成

2024年3月期の主な取組み

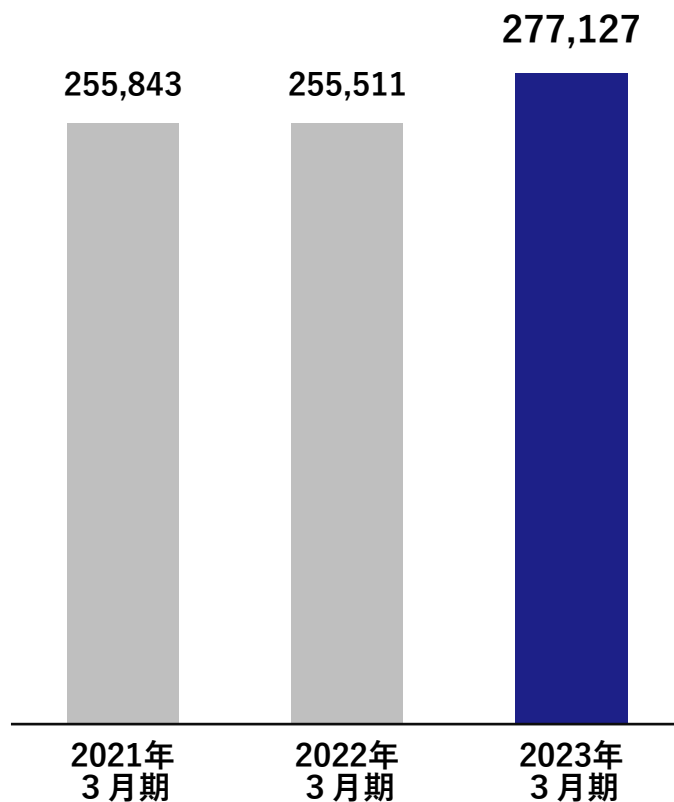
- 店舗従業員の採用と育成を促進
- イベント・プロモーション強化による新たな顧客層の獲得
- 中長期的な成長を見据え、先行投資を実施

※ 当連結会計年度より、営業外収益に計上しておりました自社割賦に係る金利収益を売上高に計上する変更を行っております。
当該変更に伴い、前期の諸数値につきましても、表示方法の変更の内容を反映させております。

■ 婦人下着及びその関連事業（一人当たりの年間平均購入金額）



一人当たりの年間平均購入金額[※] (円)



※マルコ店頭売上、ポイント値引前

新商品の投入と購入支援・
来店促進施策が奏功

客単価が 好調に推移

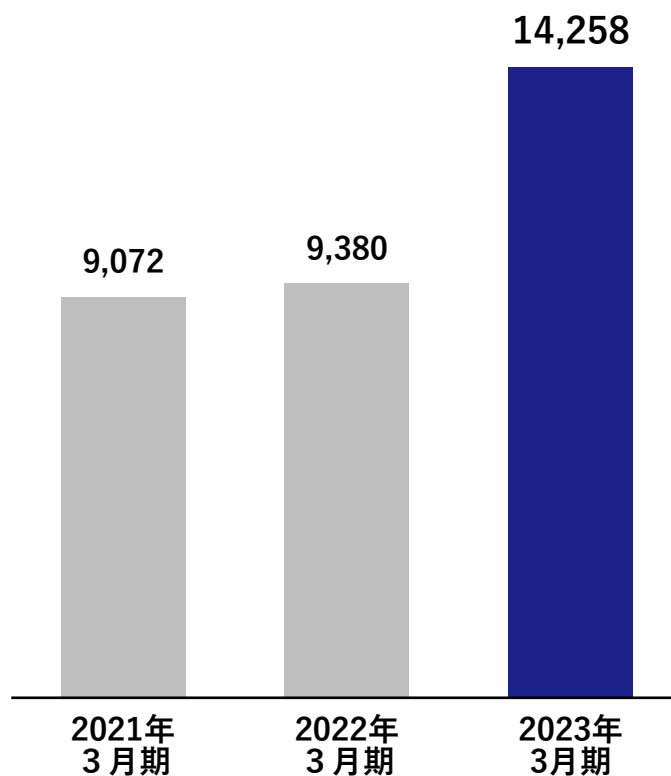
2024年3月期の主な取組み

- 商品・サービスのラインアップ拡充
- CRM戦略強化による来店促進・購入支援施策等によるLTV向上
- 店舗従業員の採用・育成強化による顧客対応力の向上

■ 婦人下着及びその関連事業（プロモーションによる集客）



メディアプロモーションによる
新規来店予約数推移 (人)



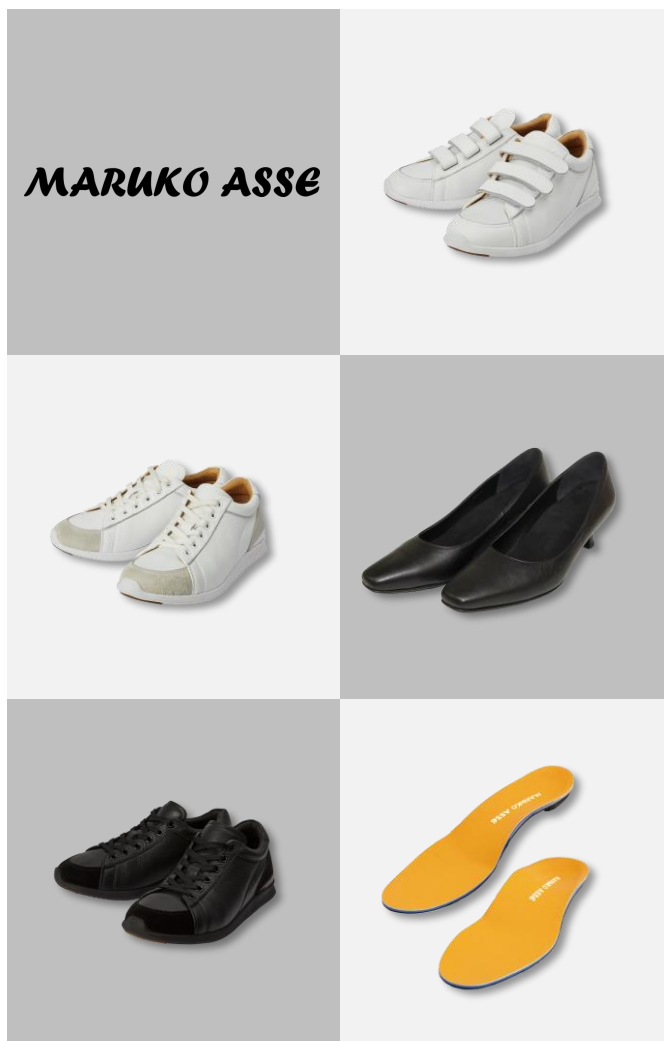
Webプロモーション強化が奏功

新規来店予約数 が好調に推移

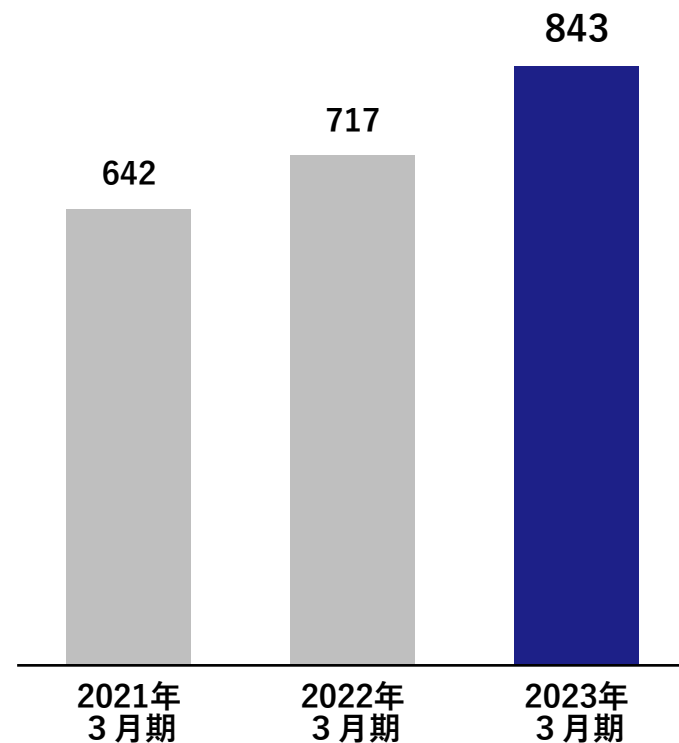
2024年3月期の主な取組み

- 新テレビCMの投入
- Webプロモーションの一層強化

■ 婦人下着及びその関連事業 『MARUKO ASSE』（オーソティクス）



アッセ
MARUKO ASSE 売上高推移[※] (百万円)



※ ポイント値引前

男性を含めた顧客層が拡大
計画を上回って
増収増益に貢献

2024年3月期の主な取組み

- イベントの積極開催など顧客層の拡大を促進
- 専門店の開設

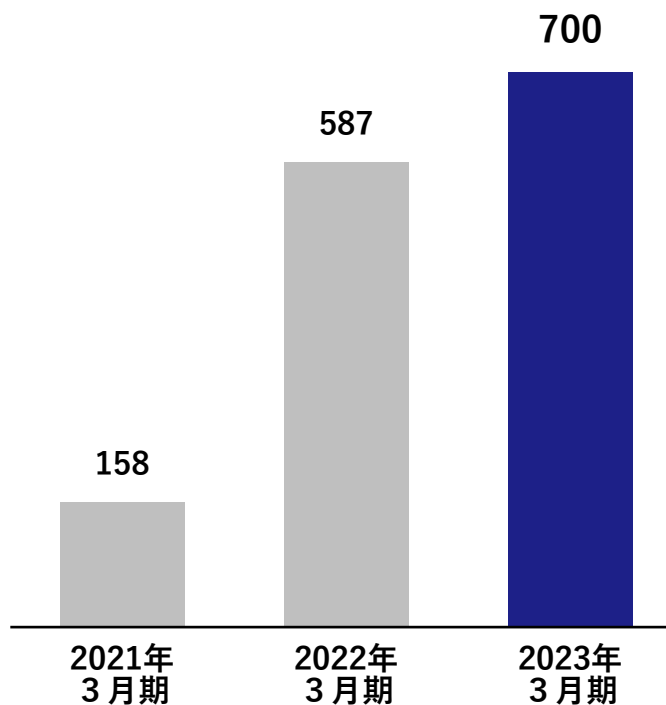
オーソティクスは、姿勢を美しく整えるオーダーメイドのインソールです。

■ 婦人下着及びその関連事業 『M.B.M.S』(オリジナルサプリメント)

水溶性ビタミンC+脂溶性ビタミンE



M.B.M.S売上高推移[※] (百万円)



※ ポイント値引前

オンラインカウンセリングなど
アフターフォロー体制の整備が進み

定期購入売上が 堅調に推移

2024年3月期の主な取組み

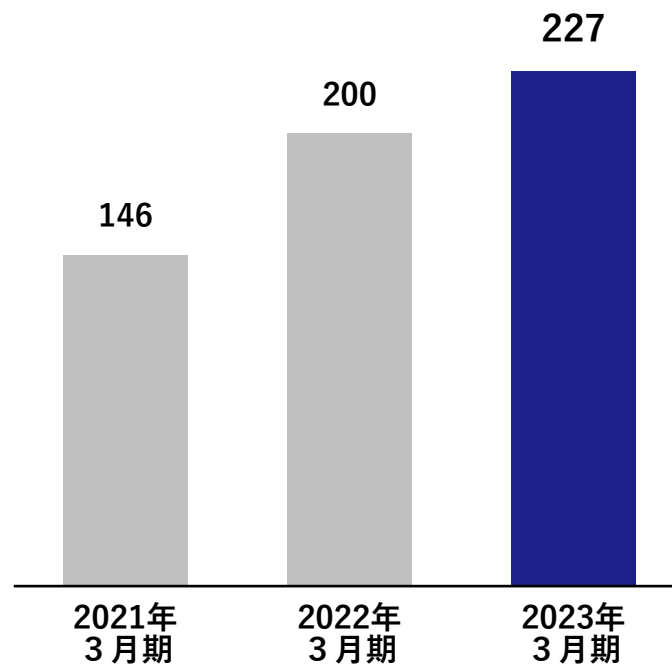
- イベント・セミナーの積極開催
- 新たな販路開拓を推進

M.B.M.Sは、マルコビューティーメイクサプリメントの略称です。

■ 婦人下着及びその関連事業 『マキジェリーク』(補整ランジェリー)



マキジェリーク売上高推移[※] (百万円)



※ ポイント値引前

新たなアイテムとして浸透、
新色・新デザインが

好評を博し 堅調に推移

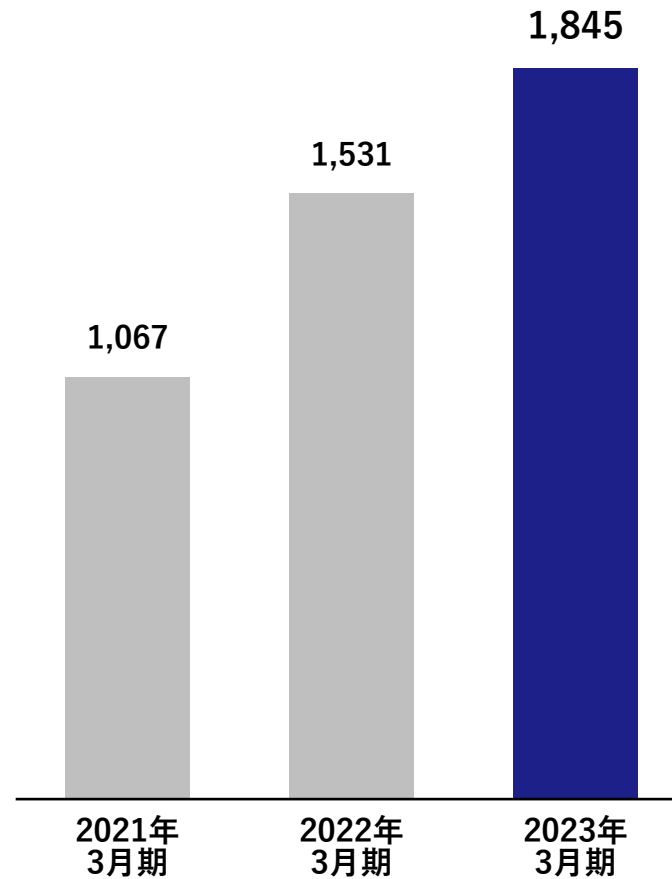
2024年3月期の主な取組み

- 商品ラインアップの拡充を推進
- プロモーション強化による顧客拡大

■ 婦人下着及びその関連事業（Eコマース）



EC売上高推移[※]（百万円）



※ ポイント値引前

マルコ店舗からの堅調な流入と
店舗でのアフターフォロー
体制が整ったことにより

定期購入が定着し 順調に推移

2024年3月期の主な取組み

- マルコ店舗顧客の流入促進を継続
- 健康食品による通販を強化し、新たな顧客獲得を推進

婦人下着及びその関連事業（MARUKO店舗展開）

2023年3月期実績

新規出店 2店舗

移 転 7店舗

改 装 6店舗

店舗数 208店舗

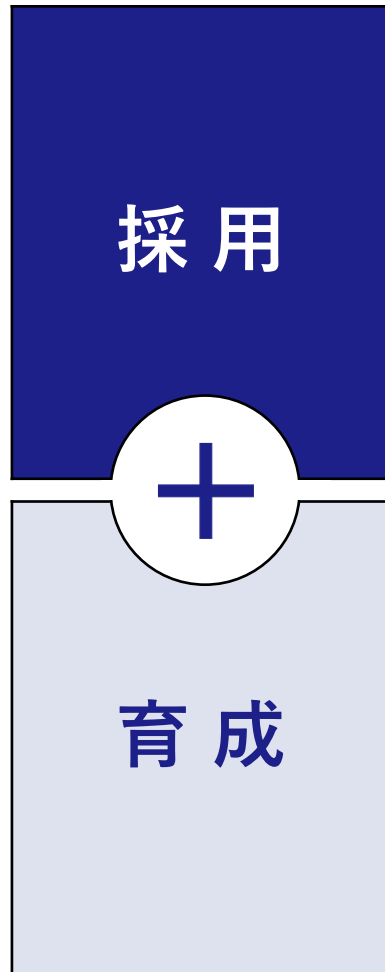


2024年3月期の主な取組み

店舗網の拡充

お客様の利便性と満足度の高い空間づくりを継続





初任給アップ

採用機会の拡大

- ・ 学生向け補整下着のサブスクリプションサービスの展開
- ・ 大学スポーツ部へのスポンサー支援
- ・ 幅広い一般公募など

チャレンジできる職域の拡大と 適正な評価

従業員満足度の向上を図る

多様な働き方を促進

2024年3月期の主な取組み

店舗従業員の 採用・育成の強化

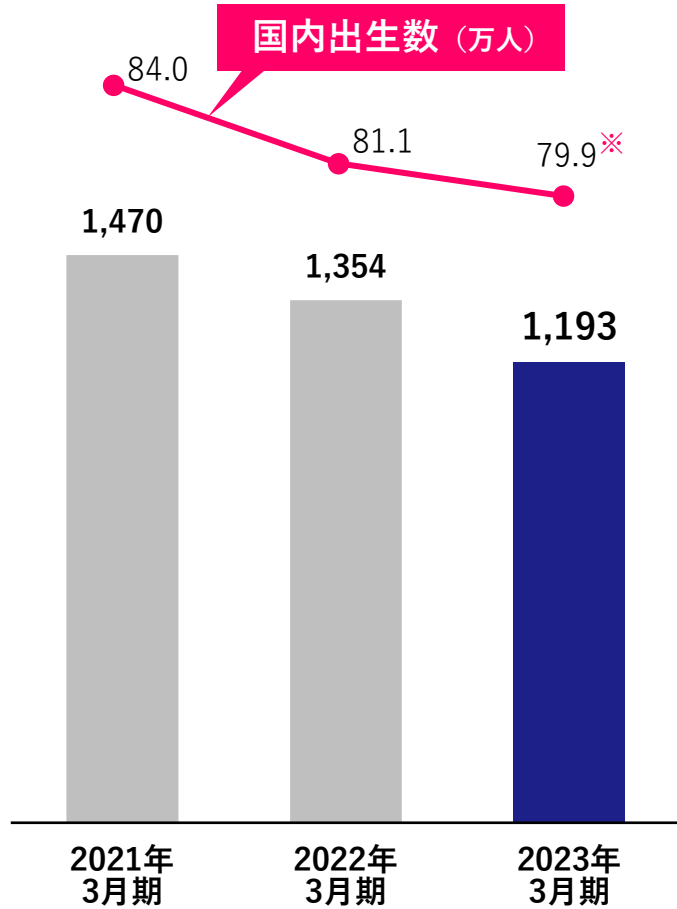
- やりがいのある給与制度への見直し
- OJT体制の見直し
- 実力に応じたスキルフォロー
- オーナー制度の導入



マタニティ及びベビー関連事業

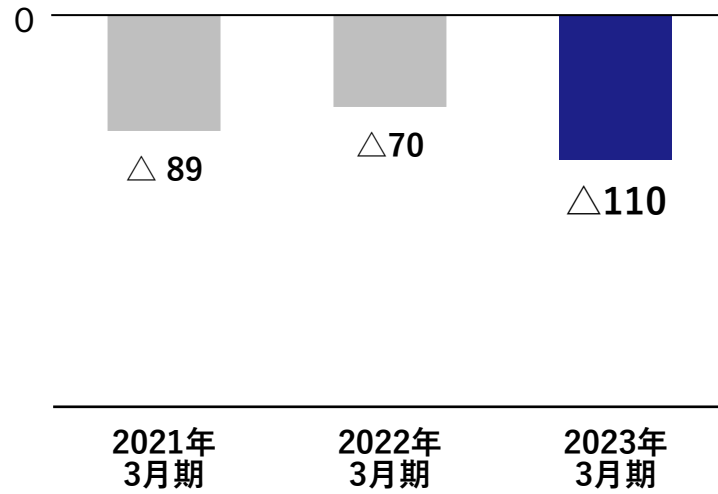
■ マタニティ及びベビー関連事業

セグメント売上高 (百万円)



※ 厚生労働省 人口動態調査 (速報値)

セグメント利益 (百万円)



中長期的な成長に向けて

事業基盤の再構築

- 次期以降の新商品投入に向け、在庫の最適化を推進
- フォトスタジオなど新たな収益事業の育成

ANGELIEBE

商品の差別化によるシェア拡大
新たな販路構築



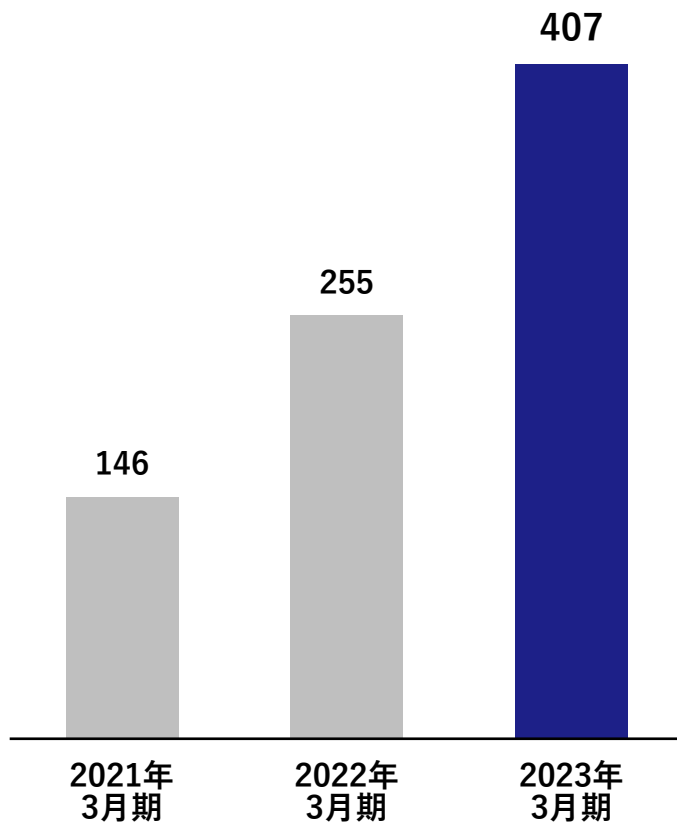
- お客様のニーズに沿った商品・サービスの開発、投入
- 海外市場でのシェア獲得を目指し、中国 Tmall（天猫）に出店



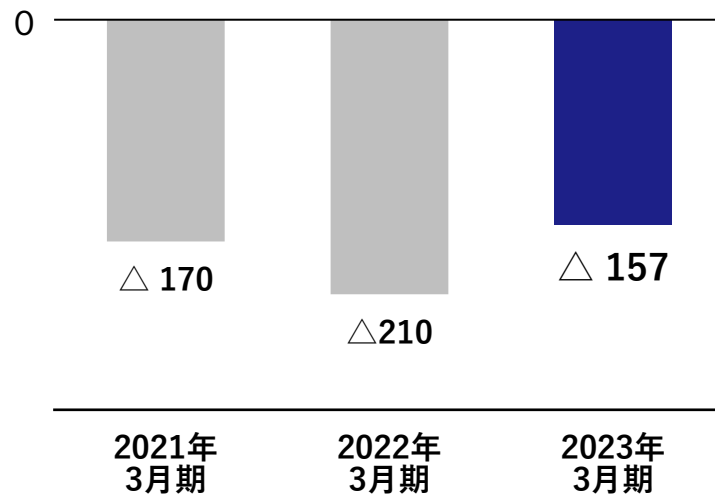
婚礼・宴会関連事業

婚礼・宴会関連事業

セグメント売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



行動制限の緩和により

回復傾向 で推移

- 営業強化により、法人宴会・イベント売上が着実に伸長
- 婚礼においても、問合せ・内覧など着実に回復傾向で推移



法人宴会や イベントなど 収益基盤を構築



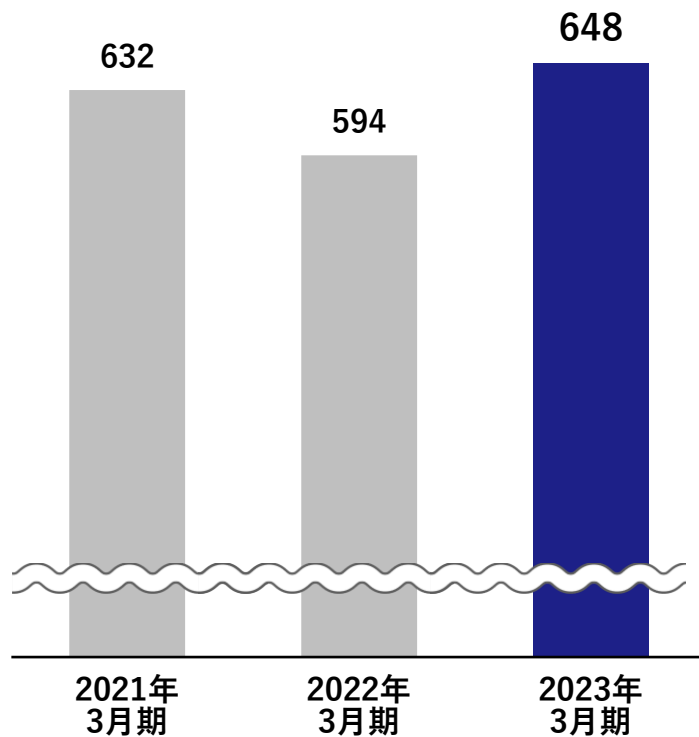
- 法人宴会の強化と、新規取引先を拡大
- イベントの開催など、様々な会場利用を促進
- アフターコロナの婚礼需要を、確実に成約へ繋げる



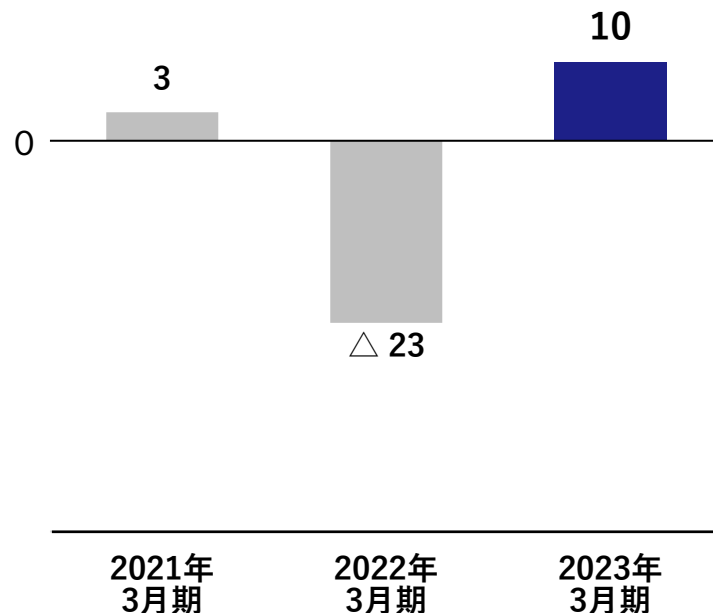
その他（主に美容関連事業）

■ その他（主に美容関連事業）

セグメント売上高（百万円）



セグメント利益（百万円）



行動制限緩和とスタイリストの育成が進み

増収増益 黒字化を達成

- スタイリストの育成が進み、集客対応力が向上
- 美容商品販売も順調に推移



スタイリストの 採用・育成の強化で 売上拡大



- 美容イベントへの積極参加等により
認知度向上を図り、採用を推進
- SNS等でのプロモーション強化



中期經營方針

「美の総合総社」を目指す

MAP 2023

MRK Avenir Project 2023

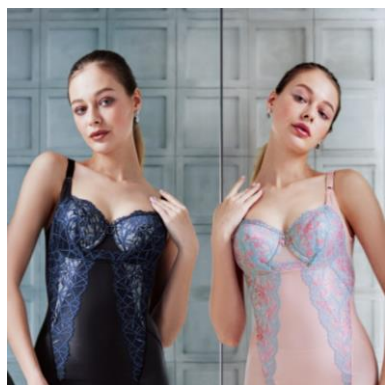


※Avenirはフランス語で「未来」の意味

女性のライフステージに寄り添ったサービスの提供

卒業

補整下着
マルコデビュー



 MARUKO

出会い

マルコの
結婚相談所



MARUKO
の
結婚相談所

結婚

ブライダル



 MARRYGRANT
— AKASAKA —
Angelina Sweet

出産・育児

マタニティ・
ベビー



ANGELIEBE

充実の人生

健康・
アンチエイジング



 MARUKO

「美の総合総社」を目指す

Maquigeriec
by MARUKO

Angelina Sweet

ANGELIEBE

me - more
MARUKO

MARUKO ASSE

MM

MARUKO MAQUIREI



b BRICK CAFE
CAFE DINING KOMAKI

MARRYGRANT
— AKASAKA —

m-fit *sports* active

FLUTUHO

Trattoria Matrimonio

M.B.M.S
MARUKO Beauty Make Supplement
DR. iSHIGURO

MARUKO

トピックス

MCSA (マルコ シンデレラ ストーリー アワード) 2023

2023年5月11日 名古屋国際会議場 センチュリーホール



- MCSAは、補整下着を通じて、美を追求し続ける全ての女性たちを対象にしたプロポーションコンテストです
- 今大会では、エントリー総数2.4万人超
- MCSA2023開催を記念した「Body Make Challenge !!」では、2ヶ月で2.5万人を超えるお客様が参加

MARUKO
Cinderella Story Award
2023

MCSAお客様応援企画

Body Make Challenge!!
ボディメイクチャレンジ

1体型変化
1cmにつき**1,000**円
のクーポンプレゼント!
お一人様最大10,000円!

.....*.....*.....*.....*.....*.....
速報!!マルコ初企画!!
MCSA2023応援企画「ボディメイクチャレンジ」がスタートしました!
.....*.....*.....*.....*.....*

SDGsに関する取組みを強化



女性活躍推進



リユース補整下着や切手などの寄贈



ヘアドネーション
フードロス
ピンクリボン活動



再生紙紙袋の採用
下着のリサイクル



太陽光発電システムの導入



TEAM EXPO 2025
共創チャレンジに
エントリー

SDGsの新たな取組み

太陽光発電システムの導入（2023年5月上旬より稼働）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



- 自社施設の太陽光発電システムの導入（2024年3月期上半期2施設に設置予定）により、クリーンエネルギーの積極的な活用による二酸化炭素の削減など、社会課題の解決と収益基盤強化にもつながる持続可能な目標に取り組む



免責事項

本資料は、当社および当社グループの企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。